兵庫県商工新聞

編集
兵商連新聞編集委員会
発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎（078）341-0563（代）
FAX（078）341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email:info@hyoshoren.co.jp

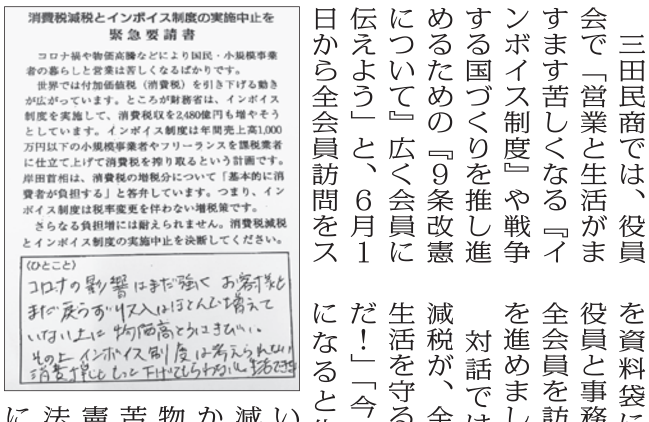
2022年7月
第359号

消費税減税・インボイス中止！
税制で商売つぶすな！

税務書は消費税インボイスの「登録申請はお済ですか？」などと記載した文書を送付し、登録申請相談会の参加を呼びかけています。

消費税減税・インボイス中止は中小業者の切実な願いです。各地の取り組みを紹介します。

政治への怒りが噴出【三田民商】


消費税減税とインボイス制度の実施中止を
緊急要請書

コロナ禍や物価高騰などにより国民・小規模事業者の暮らしと営業は苦しくなるばかりです。

世界では付加価値税（消費税）を引き下げる動きが広がっています。ところが財務省は、インボイス制度を実施して、消費税収を2,480億円も増やそうとしています。インボイス制度は年間売上高1,000万円以下の小規模事業者やフリーランスを課税業者に仕立て上げて消費税を搾り取るという計画です。岸田首相は、消費税の増税分について「基本的に消費者が負担する」と答弁しています。つまり、インボイス制度は税率変更を伴わない増税策です。

さらなる負担増には耐えられません。消費税減税とインボイス制度の実施中止を決断してください。

〈ひとこと〉
コロナの影響はまだ強く お客様もまだ戻らず収入はほとんど増えていない上に 物価高とうにきびしい。
その上 インボイス制度は考えられない
消費税ももっと下げてもらわないと商売できない

三田民商では、役員会で「営業と生活がますます苦しくなる『インボイス制度』や戦争する国づくりを推し進めるための『９条改憲について』広く会員に伝えよう」と、６月１日から全会員訪問をスタートさせました。

消費税を５％に引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める請願署名、憲法改悪を許さない全国署名、業者の切実な声を直接届ける１００万人ボイスアクションのハガキを資料袋にセットし、役員と事務局が一緒に全会員を訪問して対話を進めました。

対話では、「消費税減税が、全ての国民の生活を守るために必要だ！」「今以上、増税になると生活できない」「年金は減らされてばかりなのに、物価が上がり苦しい」「改憲ではなく憲法をくらしに生かそう」「もっと税金の集め方使い方を考えてほしい！」など、政治に対する怒りと、国民・中小業者の声を聞かない政府の対応に、中小業者は悲鳴を上げています。

６月13日からは二巡目の会員訪問をしていますが、会員が集めてくれた署名やハガキを事務所に届けてくれるなど、今までにない反応も生まれています。

署名活動を通じて会員の声を集めて、政治を変える運動をさらに強めていきたいと思います。

（三田・竹内通信員）

学習し反撃の力に！【明石民商】

明石民商では、「税制で商売つぶすな、インボイスを学んで中止の力に」と学習会を開催しました。森川裕司会長が「私は自転車屋です。お得意さんにバイクの修理を言ってくれる新聞屋さんがいるので、インボイス制度が始まれば大変です。今日はみんなで学習しましょう」とあいさつ。

芝本泰文事務局長が自主計算パンフなどを使って、①消費税がそもそも不公平であり、転嫁できない業者が身銭を切ることになる税金②インボイス制度は弱肉強食の不当な税制。相互にけん制、監視をさせ合い、国民・中小業者に押し付ける③登録まではまだ時間があり、反対の世論を起こせば中止させることができると説明。

その後の意見交換では、「元請から、軽くインボイス登録しといてよと言われた」（塗装業）、「同業者に『どえらい制度が始まるから民商に入会しとき』と話している」（防水）との話が出されました。

芝本事務局長から、「１００万人ボイスアクションのハガキに一言を書いて送り、消費税引き下げ・インボイス中止が参議院選挙の争点になるようにしよう」と訴えが。参加者は「お客さんにも言う」「家族で書くわ」とハガキを持って帰りました。

（明石・芝本通信員）

全国業者青年交流会プレ企画
【兵青協　第19回経営力アップ交流会】

兵青協は５月２９日、９月に大阪で行われる全国業者青年交流会のプレ企画として、第１９回経営力アップ交流会を兵商連会館で開催し、オンライン参加と合わせ４４人が参加しました。

灘民商青年部で県青協副会長の吉田優一さん（電気工事）は、「運良く人脈があって、仕事が途切れずにやってこられた。従業員５人とは対等な関係を意識して接している」と。

兵庫民商青年部の張坤さん（パーソナルトレーニングジム）は「広告費を省き、値段を安くし、顧客に合わせたトレーニングや食事メニューの提案が喜ばれている」と。

兵青協の山名孝明会長は、青年部の役員だからこそ経験できたことを報告。「全国の業者青年とつながりを持てたのは、大きな収穫。役員になって一緒に楽しみましょう」と語りました。

学べば学ぶほど怒りが 婦人部学習会【神戸民商】

神戸民商婦人部は6月9日、消費税の「適格請求書等保存（インボイス）方式」の学習会を開催し、14人が参加しました。

まず消費税の計算の基本とインボイスの記載事項、「簡易インボイス」「返還インボイス」「電子インボイス」などの内容、発行事業者の登録・公表制度や各種届出手続きなど具体的な実務を学習。続いて免税事業者、課税事業者、地域・文化への影響や、消費税は「預り金」ではないことを学び、最後にインボイス中止へ、①まだ登録しないこと②署名とハガキ③参議院選挙勝利が重要であることを確認して終わりました。

参加者は「手続きが複雑で、機械化もできない」「個人事業者はやめなさいですか」「景気が悪くしんどいのに今度はインボイス。どうすればいいのか」「もっと私たちの声を聞いてほしい」「インボイス反対」など怒りの声を岸田首相・鈴木財務相あてのハガキに書き込みました。

（神戸・久保田通信員）

もうかりまっか

▼コロナ禍の影響で減収になった中小法人・個人事業者・フリーランスなどを支援する持続化給付金の詐欺事件が相次いでいる▼この給付金の事務事業669億円のうち95・9％にあたる642億円が元請のサービスデザイン推進協議会から電通に再委託され、最大9次までの下請関与企業は重複を除き562社に及ぶ。検査院は3次以降の委託額を把握できてなかったとしている▼このズサンな業務の連鎖で多くの中小業者が苦難を強いられている事実は明らかになっていない。官庁業務を民間業者に丸投げし、スムーズな支給の妨げになっている▼この中で多くの中抜きが行われ、パソナ、電通、大日本印刷などに流れている。まさに税金の無駄遣い、詐欺のようだ▼また、再委託は経産省・中小企業庁の承認を得るようになっていたが、少なくない企業が承認を得ないまま個人情報を扱っていた事実も明らかに▼「政治と金」の癒着を国民の目に明らかにすべきではないか。国民の血税は、国民のために使うべき。それを検証する機関の創設が望まれる。（K）

集まって、話し合えば元気に！

中小業者の要求実現へ全力
【兵商連第70回定期総会】

6月5日、兵庫県民会館けんみんホールとウェブの併用で、兵商連第70回定期総会が開かれ、代議員・評議員139人が参加しました。

加口良秋副会長が主催者を代表してあいさつを行い、その後、那須由美子事務局長が、活動報告・運動方針の提案で、①全会員とハガキや対話資料、署名で話し合い政治への怒りを組織しよう②県・自治体へさらなる支援策の拡充を求めていこう③組織活動を再開し、役員会を中心に諸運動に取り組もうと訴えました。

三田民商の吉岡昌保副会長は、「毎月の宣伝、会員訪問を欠かさず行い、紹介や声かけにより仲間が増え、毎年増勢に。念願の200人民商を達成」と。

葺合民商の久宝さゆり事務局長は、「感染症支援策の相談を役員と事務局が一緒に取り組んできた。毎週の民商ニュースが要求相談につながっている」と。

明石民商の森川裕司会長は、「それやったら民商に行って相談をと、2年間で165人が増えた。今年は待ちの拡大から攻めの拡大に切り替えたい」と、3人が代表発言を行いました。

記念講演は、関西学院大学の冨田宏治教授。「日本でも核を持ちたい、軍事には軍事でという動きが強まっている。世界の真の対決軸がどこにあるのかを見きわめ、人間の尊厳を合言葉に政治を変える運動をすすめよう」と呼びかけました。

活動報告・運動方針の提案は、満場一致で採択され、その後、土谷洋男新会長を先頭に2022年度の新役員を拍手で選出。30民商が団結して諸運動をすすめることを誓い合い、総会は閉会しました。

平和と憲法を守ろう
倉敷民商弾圧事件要請行動100回

倉敷民商弾圧事件禰屋町子さんの無罪を求める岡山地裁への第100回の要請行動が6月20日に取り組まれ、禰屋さんを始め、民商・兵商連から参加した6人など20人の支援者が集まりました。

要請行動では、総務課長に署名を提出。要請文を渡し10人が禰屋さんの無罪や起訴の取り下げを訴えました。禰屋さんは、「高裁の差戻し判決の後4年6ヵ月もの間何もない。立証計画を立てていない検察に問題がある」と、控訴と起訴の取り下げを訴え。

民商・兵商連からは、神戸北民商の山田会長と県連事務局2人が要請。岡山県国民救援会の竹原事務局長から倉成裁判長との面会についての話が出され、総務課長から「この要請行動に2年近く関わっている。かなり長期間かかっていると認識しているが、面談はできない」との返答。参加者から「被告人とされている禰屋さんを3者協議に入れて欲しい」と要請しました。

街頭宣伝では、神戸北民商婦人部長の石井婦人部長もマイクを握り、『倉敷民商弾圧事件』は、税金の集め方と使い方を見直そうと運動している民商に対する不当な弾圧事件」と訴えました。

午後からは、裁判闘争の学習と活動を交流しました。

共済全会員加入をめざして
【兵商連共済会第45回定期総会】

兵商連共済会は6月19日、第45回定期総会を開き94人が出席しました。

村上哲也理事長は、「コロナ禍の中、全会員加入をめざす運動に取り組んできた。集団健診活動を中心に仲間同士、命と健康を守り合う運動に取り組んできた。30民商が団結して、この危機を乗り越えよう」とあいさつ。

3民商が代表発言を行い、のべ26民商が健診と拡大で表彰。方針案、決算予算案が満場一致で採択され、方針実践の先頭に立つ新役員65人が選出されました。

【代表発言から】

（東灘） 健診助成金を活用して、加入者は春の大腸ガン検診は無料、秋の集団健診の基本健診も無料にしている。大腸ガン検診は加入者全員に声をかけ、未加入者にも訴え。拡大では同時加入はもちろん、未加入会員、同居家族、従業員にも根気強く声をかけている。

（須磨） 同時加入の徹底に力を尽くす中、11年間で加入者は218人の増、A会員は244人の増に。健診ではLINEを使った周知で40歳以下の受診者が2割を超え、若い世代には特に効果があると手応えを感じた。

（但馬） 共済金を渡す時、「家族や従業員も加入できる民商の共済は、千円を会費に乗せてもらうだけです」と呼びかけている。年齢的に共済を命綱と思っている方々が請求漏れにならないよう、周りの会員に共済の魅力を語れる学習会も行っている。

経営情報

23年のインボイス制度導入に向け、「税務署から登録のお知らせが届いた」「元請からインボイス取得を言われた」等の声があがっています。インボイス導入で免税事業者は消費税の負担増か取引排除、値引きを強いられます。中小業者を廃業に追い込むインボイス制度は中止させましょう。

編集後記

先日外食した時、空いたお皿をロボットが下げにきました。ガソリンスタンドはもちろんスーパー、コンビニのレジもセルフが増えました。自動やセルフは便利ですが便利＝働く場所が無くなる気がして心配です。（H）

私の商売ものがたり NO.233

美味しく食べて健康に

柏谷 友則さん（飲食）淡路民商

18歳で料理の修行を始め、師匠から「自分がどの道を極めていくかを定めろ」と言われて海外修行へ。いろんな国へ行き、和・洋・印のいい所をすべて加えてカレーを作りました。

2010年にアメリカ村で開店し、お客さんも定着してきたことで店舗が手狭になり、大きな店舗に移る計画をしていましたが家賃が高く、田舎ぐらしに憧れていたこともあり、思い切って淡路島に移住。コロナもあり今年4月から開店しました。

ベースは野菜のみ。無添加・無化調で作ったヘルシーなカレーはベジタリアンの方もお召し上がりいただけます。創業以来、煮込んで寝かし、継ぎ足しを繰り返し、辛・酸・甘とバランスを重視した味と、店主の経験から和・洋・印の料理のエッセンスを調和させた三味一体カレーで、たくさんのお客さまから「元気になった」「体調が整った」など、美味しい以外にもうれしい言葉をいただいています。今後は淡路の食材を取り入れたより良い料理を提供してまいりますので、淡路島に来たさいは是非お越しください。

SIMBA CURRY
〒656-2223
淡路市生穂2149-1
☎080-3914-2136
http://www.simba-curry.com